

研究課題名	生殖補助医療による妊娠に対する周産期予後の後方視的研究
研究の意義・目的	体外受精/胚移植は2022年4月より保険診療になり現在広く行われている生殖補助医療です。さらに近年、孵化補助（Assisted Hatching）や着床前診断（PGT-A）といった受精卵に直接操作を加える手技も多く行われてきています。今回の研究では大阪公立大学で周産期管理を行った方のうち、生殖補助医療により妊娠された方についての孵化補助 や着床前診断新たな技術を含めた詳細な治療内容を検討し、その後の周産期管理において胎児の発育や母体周産期合併症だけでなく胎盤や臍帯形成にまで含めた幅広い検討を行います。生殖補助医療からより安全な周産期医療に繋がる非常に重要な研究であると考えております。
研究を行う期間	研究実施期間：研究機関の長の研究実施の許可後 ～ 2026年12月31日（西暦）
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2016年1月1日から2025年12月31日の間に大阪公立大学医学部附属病院（旧大阪市立大学医学部附属病院）・女性診療科において周産期管理を行った方を対象とします。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、性別、身長、体重、出生体重、出生週数、分娩方法、分娩時出血量、臍帯血ガス、胎盤重量、臍帯付着部、癒着胎盤の有無、周産期母体併発症、凍結胚/初期胚、自然周期/ホルモン補充周期、移植胚グレード、Assisted Hatchingの有無、PGT-A施行の有無、移植時の血中エストロゲン値、プロゲステロン値、妊娠判定時のエストロゲン値、プロゲステロン値、初期胎児頭殿長、胎盤位置、癒着胎盤の有無】 ※紹介患者様の場合、紹介元の医療機関から情報提供を受けて実施します。
試料・情報の他機関への提供	<単機関研究> この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は下記の機関より既存情報の提供を受けて大阪公立大学医学部附属病院女性診療科で研究を実施します。 春木レディースクリニック 氏名：春木篤 なかむらレディースクリニック 氏名：中村嘉宏 岡本クリニック 氏名：岡本吉夫 その他、不妊治療を標榜している病院・クリニックなど紹介元の医療機関
試料・情報を管理する責任者	<単機関研究> 大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 研究責任者 羽室明洋
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 （担当者氏名）羽室明洋 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：hamuroa@omu.ac.jp